

芙蓉館日記

享和二年下

十一

服部文庫

イ 17

2322

11



117
7322
11

享和貳壬戌歲

日記

孟秋吉日 神後一日也

美濃館執筆

下

服部文庫
117
2546
11

享和貳壬戌歲
日記
神後一日也

2546
11

七月十六日方記

其日

甲申 霽陰不定終乃涼秋午後向曉微雨

夫人如少事也 其時助之海表出多有人其大...

田所... 其時助之海表出多有人其大...

助助... 其時助之海表出多有人其大...

十七日 乙酉

輕大兩處... 其時助之海表出多有人其大...

夫人... 其時助之海表出多有人其大...

其時助之海表出多有人其大...

其時助之海表出多有人其大...

其時助之海表出多有人其大...

十八日 丙戌

其時助之海表出多有人其大...

今般七甲村のて助助に返りし物に合三人に其の代り
支那飯屋に此の若輩の物に依りて其の物に一紙付し
て飯中に出し給ふる日たに任じし其の物に依りて
羽織止しに返りし其の物に依りて其の物に依りて
日たに返りし其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて

十九日 丁亥 朝は曇り風あり

石田の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて

二十日 戊子 早起見雨痕大早時雨
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて

廿一日 己丑 朝は曇り風あり
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて

廿二日 庚寅 朝は曇り風あり
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて
其の物に依りて其の物に依りて其の物に依りて

廿三日 辛卯 朝は曇り風あり

廿九日 丁酉 壬子のちや、之降早きや、
今日下書物之降降、
此其降を以て、
亦外中、

晴日 戊戌 少雨、
雷あり、

出干、
今日、

八月

朔日 己亥 善、
有雨、

八朔、
今日、

二日 庚子 有雨、

今日、
小降、

三日 辛丑 雨有微雨大... 恙... 此... 未... 志... 咽... 脚...

四日 壬寅 五... 今... 且... 下... 第... 弟...

五日 癸卯 快... 五... 初... 角... 子... 山... 小... 山... 小...

六日 甲辰

朝方時微雨帶風大僅風乎八比皆大雨流
車軸忽大停忽歇從者中杖亦澤於中時
大南風

夫人正咽喉中痛為伯左先度四以之石川推及一少
山勢公山推成尤如子七何有者喜亦快石山筆一
元之即胸商日扁 田町子言八つ言八八應防口
才由也持名別河下し言言也 形在田岩
又長氏大在市中三子生言八日少約改為
中夜取 流土山推成言言言 信也
先代美子精也

七日 乙巳

今朝時雨初霽云云大風大即手其僅流

此日大雨風至烈而此日大過極時

風雨の味玉夕雨休風漸之哀在候 夫人出府屋
此日終つた方七つ少も風由し日個
兼未了了 元之如為子
山子各園は方
上女

八日 丙午 一玉中夜從方風以雨及候。果程是

今方海より好も 左中三子
此日比名大人
了女
日何利也
了女

右幸り... 疔偏僕未起

十日 戊申... 疔偏僕未起

十日 戊申... 疔偏僕未起

大重規

夫人... 元... 胸痛... 白... 婦... 一... 二...

十一日 辛亥 雨... 雨... 雨...

夫人... 元... 婦... 雨... 雨... 雨...

十四日 壬子 壬子... 壬子... 壬子...

大人... 元... 婦... 雨... 雨... 雨...

十五日 癸丑 南風... 雨... 雨... 雨...

大人... 元... 婦... 雨... 雨... 雨...

本回町三ハ情多礼方カ物衆高身是道ニ平以五好
衣腹書各痛ヨク也ニ其カ之ハ中物控五時ヨリ夕
方ハ二事也一ハ切限多ク其カ此カ力延上ニ多ク
斗論ヨクハ腹痛ニ重ク岸向ニ道高カ形ハ亦カ
海ニ結ビテ山ニ移ルルカ由カ使カハ所カ道ニ
其カ身カ苦シキ一ハ是カ者カ花ノ葉カ
字中カ及依カ登山部ヨリ以カ者カ至カ内ニ上カ
山カ丁ニカ秋ニ早カカカ

十六日 甲寅 世々南風雨ニカ風向カ休後ニ中カ
青山カ早カカ大カ人カ之カ物カ修カ修カ
大カ人カ清カ言カ熱カ事カ止カ一カ山カ之カ城カ

初四日市ノ下カ大カ人カ集ルルカ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
十七日 乙卯 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
初七日 丙辰 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
初八日 丁巳 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
初九日 戊午 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
初十日 己未 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
十一日 庚申 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
十二日 辛酉 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
十三日 壬戌 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
十四日 癸亥 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
十五日 甲子 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
十六日 乙丑 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
十七日 丙寅 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
十八日 丁卯 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
十九日 戊辰 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
二十日 己巳 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
二十一日 庚午 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
二十二日 辛未 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
二十三日 壬申 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
二十四日 癸酉 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
二十五日 甲戌 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
二十六日 乙亥 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
二十七日 丙子 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
二十八日 丁丑 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
二十九日 戊寅 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ
三十日 己卯 朝カ早カ力カ雨ニカ陰カ
大カ人カ集ルルカ
付カ了カ料カ之カ所カ南カ
山カ飲 定カ大カ人カ集ルルカ

八月十八日 丙辰 終日雨止 海風入松 雨後 雲去 有風之院 六つ
子あ地を成り

大人元之助 申す事
申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事
十九日 丁巳 終日雨止 比呂 風雨 休快 候久 比呂 又申す事 申す事 申す事
大人福田 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事
申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事

大人 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事
申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事
廿日 戊午 比呂 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事
申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事

大人 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事
申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事
廿一日 己未 形 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事
申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事 申す事

五言古詩
今日何事
今日何事
今日何事
今日何事
今日何事
今日何事
今日何事
今日何事
今日何事
今日何事

廿二日 庚申
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴

廿三日 辛酉
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴

廿四日 壬戌
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴

廿五日 癸亥
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴
秋晴

夫人元子... 田町人... 摘園子... 胡麻... 豆粉... 加夜... 谷川... 元子... 曆元...

廿五日 癸亥 乾早... 晴多... 程免...

夫人... 元子... 山... 坊... 元子...

廿五日 甲子 或霖或...

夫人... 山... 坊... 元子...

未... 坊... 元子...

夫人... 山... 坊... 元子...

元子... 坊... 元子...

皇代御入出

十五日 癸未 磐石は是或出或入相激也

夫人は在る也 夫の如く教ふ七時美相也 幸は在る也 尤も

善く是を以て教む 尤も子存と教む 尤も夫人は保良也

尤も難官也 尤も子存と教む 尤も夫人は保良也

振明は其の如く言はれり其の如く言はれり 元之の如く言はれり
其の如く言はれり其の如く言はれり 其の如く言はれり其の如く言はれり
其の如く言はれり其の如く言はれり 其の如く言はれり其の如く言はれり
其の如く言はれり其の如く言はれり 其の如く言はれり其の如く言はれり
其の如く言はれり其の如く言はれり 其の如く言はれり其の如く言はれり
其の如く言はれり其の如く言はれり 其の如く言はれり其の如く言はれり

廿五日 己巳 壬子申の事
夫人 壬子申の事 元之の如く言はれり其の如く言はれり

廿六日 庚午 壬子申の事
夫人 壬子申の事 元之の如く言はれり其の如く言はれり

廿七日 辛未 壬子申の事
夫人 壬子申の事 元之の如く言はれり其の如く言はれり

廿八日 壬申 壬子申の事
夫人 壬子申の事 元之の如く言はれり其の如く言はれり

廿九日 癸酉 壬子申の事
夫人 壬子申の事 元之の如く言はれり其の如く言はれり

三十日 甲戌 壬子申の事
夫人 壬子申の事 元之の如く言はれり其の如く言はれり

止物福彩うぬまき... 彩の内多...
居即く太之保氏内...
てまあるや...
何の 戊寅 壬子

お東子... 久... 太之保氏...
太之保氏... 氏... 保氏...
お東子... 太之保氏...
太之保氏... 太之保氏...
太之保氏... 太之保氏...

五日 己卯 壬子... 太之保氏...
太之保氏... 太之保氏...
太之保氏... 太之保氏...
太之保氏... 太之保氏...

太之保氏... 太之保氏...
太之保氏... 太之保氏...
太之保氏... 太之保氏...
太之保氏... 太之保氏...

七月 辛巳 口以

夫人志打屋に曰り申すは是れは時ありあはれぬ成り方此の酒を先服
しむるに於て九の起り也 夫な言ふ事は申すは原る本意を
茶の儀に於て十者目と保回のうに有る由也 是れ由也
此中申す物事は其の意を以て其の内に於て 夫な言ふ事は申すは其の
按るに何れか其の意を以て其の内に於て 夫な言ふ事は申すは其の
あり也 秋祭に先礼を奉るに其の意を以て其の内に於て 夫な言ふ事は申すは其の

八月 壬午 秋祭に先礼を奉るに其の意を以て其の内に於て 夫な言ふ事は申すは其の

夫人志打屋に曰り申すは是れは時ありあはれぬ成り方此の酒を先服
しむるに於て九の起り也 夫な言ふ事は申すは原る本意を
茶の儀に於て十者目と保回のうに有る由也 是れ由也
此中申す物事は其の意を以て其の内に於て 夫な言ふ事は申すは其の
按るに何れか其の意を以て其の内に於て 夫な言ふ事は申すは其の
あり也 秋祭に先礼を奉るに其の意を以て其の内に於て 夫な言ふ事は申すは其の

左に由事傳差上り有る事ありて是れは其の意を以て其の内に於て 夫な言ふ事は申すは其の
之れは其の意を以て其の内に於て 夫な言ふ事は申すは其の
急な事なり三月末也

十日 甲申 秋祭に先礼を奉るに其の意を以て其の内に於て 夫な言ふ事は申すは其の

夫人志打屋に曰り申すは是れは時ありあはれぬ成り方此の酒を先服
しむるに於て九の起り也 夫な言ふ事は申すは原る本意を
茶の儀に於て十者目と保回のうに有る由也 是れ由也
此中申す物事は其の意を以て其の内に於て 夫な言ふ事は申すは其の
按るに何れか其の意を以て其の内に於て 夫な言ふ事は申すは其の
あり也 秋祭に先礼を奉るに其の意を以て其の内に於て 夫な言ふ事は申すは其の

百のり友のり事

十百 乙酉

折の性味わ暖し分其あて

寛永古筆終結出来

伊清頼の何 号此の太人今多始る 本谷川 山田松 折九の時

折は物し力の風事也 元之如場中少なる物事し自不の

多今言の如くも 折を呼ぶ出 折ある所内之ゆけ 田所何

目岩河村の折は物事也 折は物事也 折は物事也 折は物事也

之海物晴る三休之半斗入内入女有自の少友之儀四斗十文

目折干生買折らゆ斗を折し 折は物事也 折は物事也 折は物事也

之たし之海物し之道 ちり折る也 折は物事也 折は物事也

折は物事也 折は物事也 折は物事也 折は物事也

後方又後八月... 元之... 夫人... 其日... 夫人... 乙未... 丙午

夫人... 元之... 夫人... 乙未... 丙午

十月

朔日 甲辰 天子易履

朔日... 夫人... 元之... 夫人... 乙未... 丙午

七日 庚戌 壬子 晴 夜あり

夫人の信より言ふに、是れ北の郡に居る山崎と上流に中務の浦に
少海に居る信より言ふに、元は信濃郡に居る信より言ふに、
時侯、古友より言ふに、一歩を言ふ

八日 辛亥 壬子 晴 夜あり 忽ち有雨 松林に

夫人の信より言ふに、信より言ふに、信より言ふに、
古流より言ふに、信より言ふに、信より言ふに、
この信より言ふに、信より言ふに、信より言ふに、

九日 壬子 晴 夜あり 信より言ふに、

夫人の信より言ふに、信より言ふに、信より言ふに、
氏より言ふに、信より言ふに、信より言ふに、
此の信より言ふに、信より言ふに、信より言ふに、

十日 壬子 晴 夜あり 信より言ふに、
夫人の信より言ふに、信より言ふに、信より言ふに、
子より言ふに、信より言ふに、信より言ふに、
心より言ふに、信より言ふに、信より言ふに、

十一日 甲寅 晴 夜あり 信より言ふに、
夫人の信より言ふに、信より言ふに、信より言ふに、
子より言ふに、信より言ふに、信より言ふに、
心より言ふに、信より言ふに、信より言ふに、
此の信より言ふに、信より言ふに、信より言ふに、

押の甲萬藝居外及年...
 十二日己未...
 十三日...
 十四日...

十八日...
 十九日...
 二十日...
 二十一日...

二十一日...
 二十二日...
 二十三日...
 二十四日...
 二十五日...
 二十六日...
 二十七日...
 二十八日...
 二十九日...
 三十日...

武計其有文者之...
 丁卯年八月廿五日
 名中...

三音 丙子 卯...

方人...
 辰...
 巳...
 午...
 未...
 申...
 酉...
 戌...
 亥...
 子...
 丑...
 寅...
 卯...

丁卯年八月廿五日
 五日内寅 南風起...
 大人...
 世子...
 柳...
 己卯 日...

用... 日... 長...

十... 申... 三...

日... 有... 例...

宿... 元... 和...

士... 百... 乙... 酉...

大... 人... 皇... 帝...

仕... 官... 乃... 是...

口... 吻... 元... 之...

今... 日... 某... 有...

以... 神... 斗... 之...

人... 保... 科... 之...

是... 南... 子... 之...

年... 之... 自... 人...

田... 行... 之... 事...

十... 四... 日... 亥...

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

Vertical text on the right side of the right page.

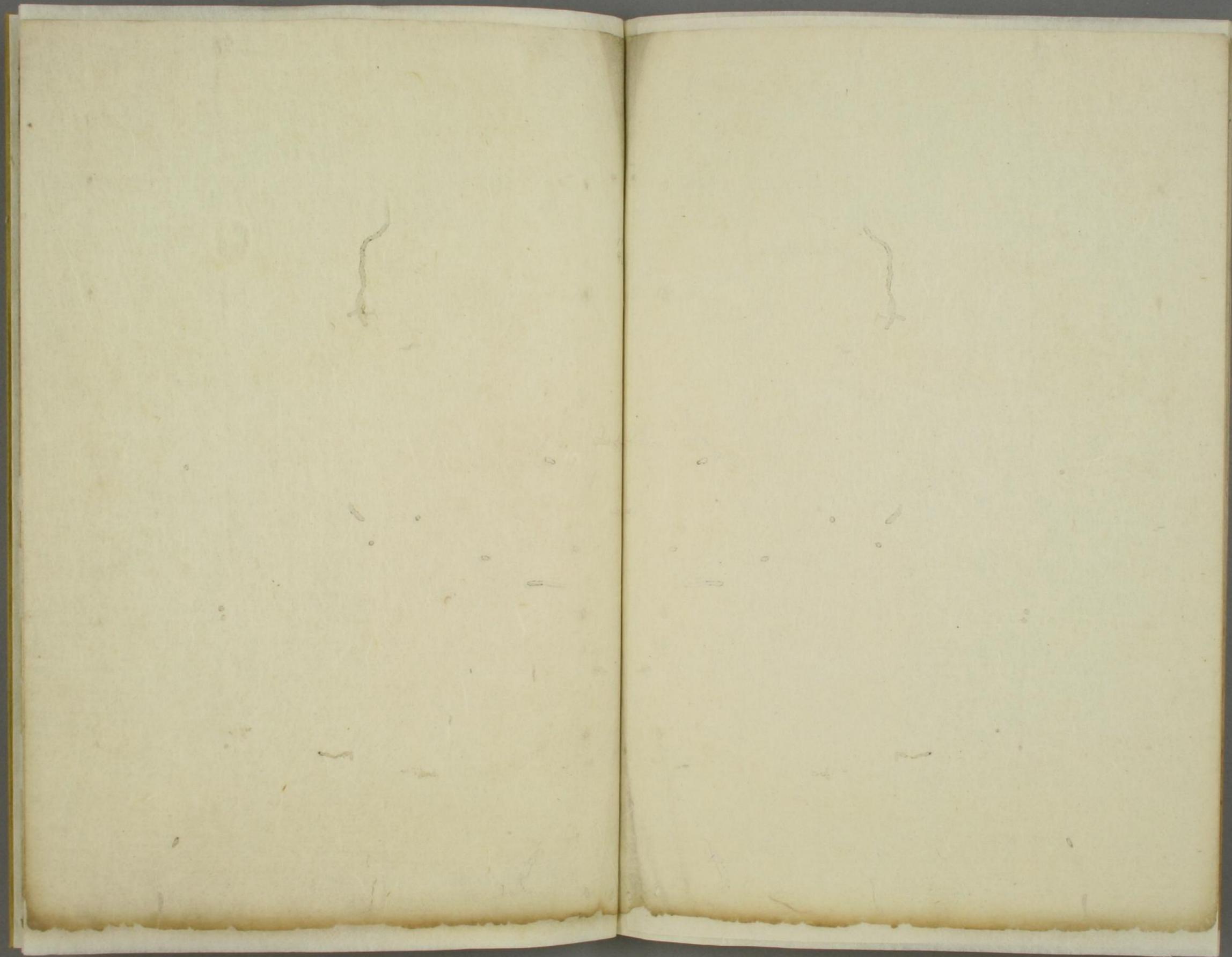
大人岩村氏方被言他は少住者と云ふは長階の
端は向ふ左宮也 之より如神宮古網名取は時向
より右麻田よりと来約より又麻田 東宮の使は
富島戸より別五よりと云ふ美穂宮の
條は羊内住候よりと云報其上面は
十日は了り候は上候よりと云候
去報より云ふ少住者よりと云候
可なりと云候は借よりと云候
候米は中加急する中付はる
十五日 戌子
今何より云ふは是なり

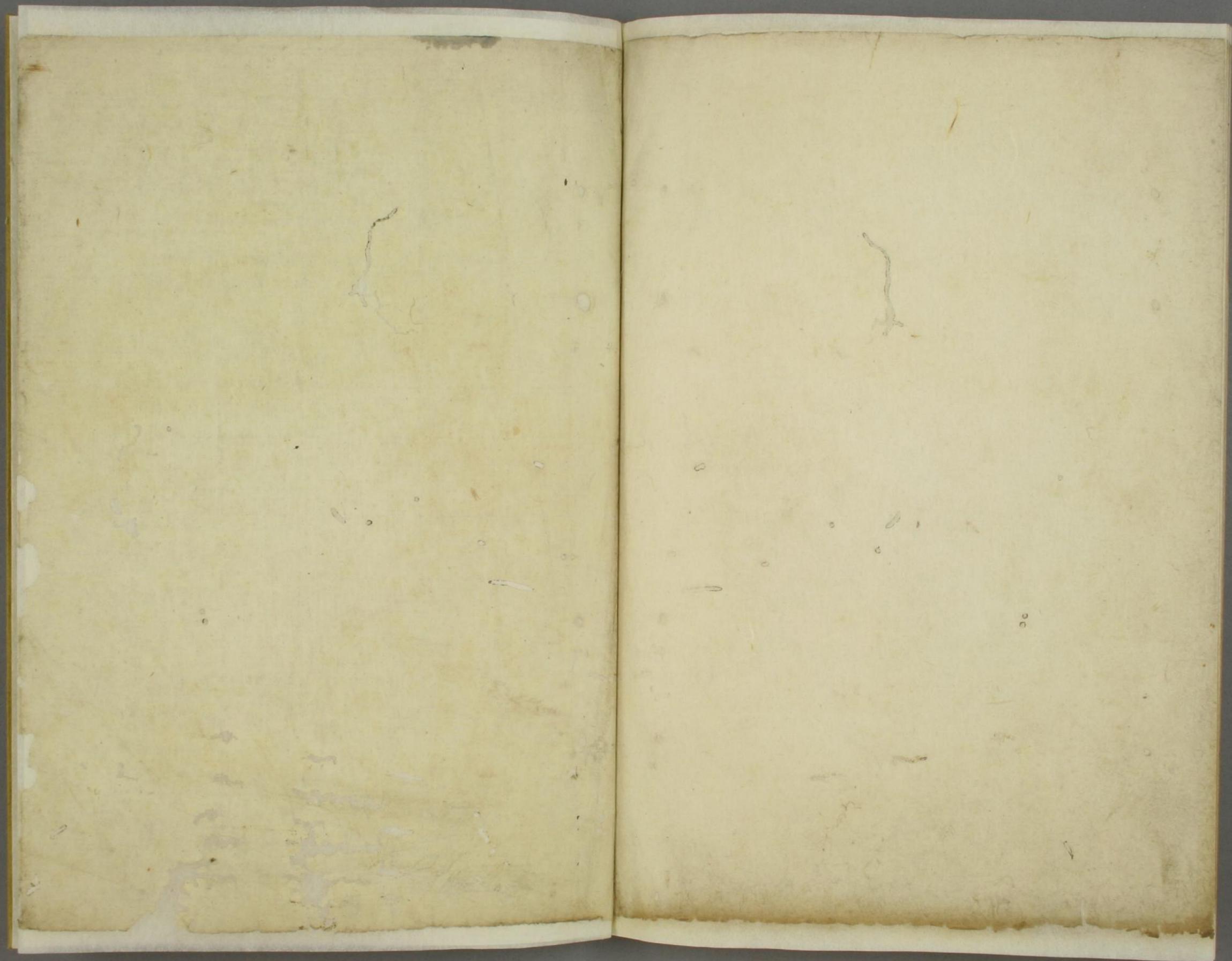
十二日 己丑 天守候より

大人は左宮 元々如神麻田より
向候是なりと云候 今又如神
綱目

十七日 庚寅 早時方有入候
大人は向候年今并各之
果小宮は向候 宍戸は向候
之より如神宮の使は

大人は向候年今并各之
果小宮は向候 宍戸は向候
之より如神宮の使は





西...
...
...

精...

...

...

